

『気づいている』 作：ポチ子

『気づいている』 作：ポチ子

分かりやすいと言われた。

嬉しい時も、

悲しい時も、

不満がある時も、

すぐに顔に出るって。

小さい頃からそうよと、

母も言っていた。

だから、あの人も気づいている。

私が傷ついていること。

それでいて、

それだからこそ、

わざわざ傷つけているのだ。

自分の言葉が私に届いて、

傷ついているのが目に見えて分かるから、

楽しくて仕方ないのだ。

知らんぷりして、

何事も無いように生きるフリだけでも、

できれば良かった。